

令和3年度(2021年度)

管理事業名	花とみどりの情報センター事業			総合計画の体系	大綱 6 都市形成 政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 施策 3 みどりの保全と創出
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費 (目) 7 花とみどりの情報センター費
部局名	土木部	予算執行所属	公園みどり室		
予算大事業名	花とみどりの情報センター事業				
	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
事業の目的と概要					
【目的】 花とみどりに関する情報の普及を図るとともに、花とみどりにふれあう市民相互の交流の場を提供し、もって緑化意識の高揚に資することを目的に、花とみどりの情報センターを設置し、指定管理者制度による施設の管理運営を行っています。					
【概要】 花とみどりの情報センター管理事業(花とみどりの情報センターを運営) 千里ニュータウンプラザ管理事業(千里ニュータウンプラザ内に設置している花とみどりの情報センターの建設費の負担や維持管理)					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
利用者数	人	60,888	23,119	7,905	令和2年度までは千里と江坂2館の利用者数。令和3年度からは1館の利用者数。
公園でのイベント企画参加者数	人	4,270	446	2,941	都市公園等でのイベント等企画への参加者数の合計。
主催講座参加者数	人	1,608	202	706	講習会や講座への参加者数の合計。
講座参加者の満足度	%	94	89	98	講習会や講座への参加者アンケートに「満足」と回答した割合。(目標70%以上)
成果の説明	利用者数は1館への統合後、減少しています。公園でのイベント企画参加者数、主催講座参加者数は前年度に比べ多くなっています。講座参加者の満足度は目標値を70%以上と設定していますが、常に高い水準を維持しています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	76	48	14	△33
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	11	2	45	42
経常収入 小計(a)	86	50	59	9
給与関係費	11,725	9,548	8,726	△822
物件費	41,353	40,751	37,445	△3,305
維持補修費	760	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	8	8
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	17,471	17,471	17,471	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	988	592	695	104
退職手当引当金繰入額	240	△1,195	131	1,326
支払利息	2,364	2,173	1,988	△185
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	74,901	69,339	66,465	△2,874
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△74,814	△69,289	△66,405	2,883
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△74,814	△69,289	△66,405	2,883
一般財源充当額	67,274	63,457	58,605	△4,853
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△7,540	△5,831	△7,801	△1,969

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	施設の統合に伴う指定管理委託料の減

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	86	50	59	9
行政サービス活動支出	58,051	54,190	49,346	△4,844
行政サービス活動収支差額	△57,965	△54,140	△49,287	4,853
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	9,309	9,318	9,318	0
財務活動収支差額	△9,309	△9,318	△9,318	△0
収支差額 合計	△67,274	△63,457	△58,605	4,853
一般財源充当額	67,274	63,457	58,605	△4,853
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動支出) 指定管理委託料 25,564千円
----------	----------------------------------

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度	373,978 人	200 円	市民一人あたり175円のコストがかかっています。
	令和2年度	376,944 人	183 円	
	令和3年度	378,781 人	175 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債	9,909	10,013	104
	未収金	-	-	-	地方債	9	9	-
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	592	695	104
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
	その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
					その他流動負債	9,309	9,309	-
固定資産	事業用資産	452,559	435,088	△17,471	固定負債	100,567	90,793	△9,774
	有形固定資産	452,559	435,088	△17,471	地方債	62	54	△9
	土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
	建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	7,416	6,959	△456
	リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
	建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	93,089	83,780	△9,309
	無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	110,476	100,806	△9,670
	インフラ資産	-	-	-	純資産	342,083	334,282	△7,801
	有形固定資産	-	-	-				
	土地	-	-	-	純資産の部合計	342,083	334,282	△7,801
建物・工作物	-	-	-	負債及び純資産の部合計	452,559	435,088	△17,471	
建設仮勘定	-	-	-					
重要物品	-	-	-					
図書館資料	-	-	-					
投資その他の資産	-	-	-					
出資金	-	-	-					
長期貸付金	-	-	-					
基金	-	-	-					
徴収不能引当金	-	-	-					
その他債権	-	-	-					
資産の部合計	452,559	435,088	△17,471					

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

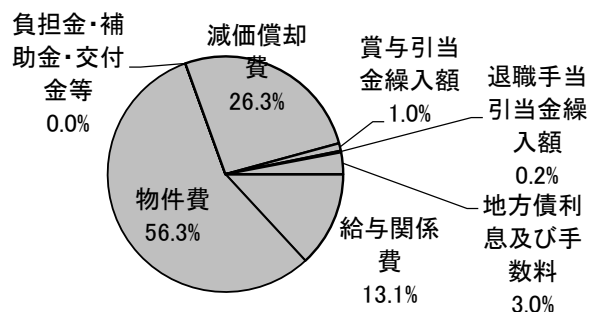
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	1.2人	0日	0日	
給与関係費等	9,552千円	0千円	0千円	9,552
内、時間外勤務手当	194千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

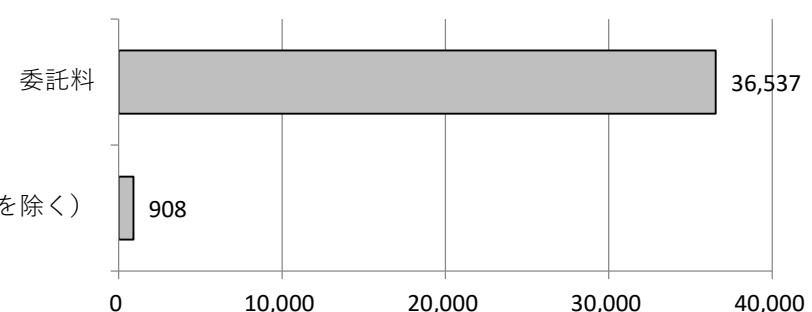
勘定科目	増減理由
建物・工作物	花とみどりの情報センター 建物減価償却による17,471千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



需用費(修繕費を除く)



▽施設の概況

施設の名義	花とみどりの情報センター(旧江坂センター含む)
取得年月日	平成8年4月1日
建物・工作物の取得価額	873,541千円
建物・工作物の減価償却累計額	438,452千円
利用料金収入	14千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		0.1	-	-	-
施設老朽化比率		46.2	48.2	50.2	2.0
受益者負担比率		0.1	0.1	0.0	△0.1
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.9	99.9	99.9	0.0
経常費用対公共資産比率		8.6	7.9	7.6	△0.3

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.6%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費37,445千円(56.3%)、減価償却費17,471千円(26.3%)、給与関係費8,726千円(13.1%)となっています。物件費の主な内訳としては、25,564千円が指定管理委託料、909千円が光熱水費、7,492千円が千里ニュータウンプラザにおける花とみどりの情報センターの維持管理費です。  
令和3年度(2021年度)に江坂花とみどりの情報センターを廃止しましたが、江坂跡地は、1年間は暫定的に土木部の資産であるため本事業に施設を計上しています。減価償却により資産(建物)が減少しており、施設老朽化比率は50.2%で、市保有施設全体の老朽化比率57.6%と比較すると、7.4ポイント低くなっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

花とみどりの情報センターは平成8年(1996年)4月1日から江坂公園複合施設内で事業を開始し、現在は千里ニュータウンプラザ内で運営を行っています。令和3年度から1館での運営となりましたが、出張相談や講習、地域での花壇づくりの支援や、まちの樹木への関心を高める市内の樹木ガイドの取組みなど、施設内にとどまらない、市内各所での幅広い事業展開を図っています。令和3年度は新型コロナウイルスの影響も残る中、規模を縮小しつつ、2年ぶりに花と緑のフェアを開催しました。主催講座や新たな企画にも力を入れ、参加者を確保しています。また、講座等の参加者アンケート結果からも高い満足度を得られています。今後はさらに市民の認知度を高めるためのPRIに力を入れ、施設の設置目的を果たしていく必要があります。